

創造 おおいた

Oita Prefectural Organization
for Industry Creation | No. 300
2026.5

中小企業の笑顔あふれる未来へ！
「挑戦」「創造」「継続・伴走」
公益財団法人 大分県産業創造機構

■ 企業紹介

株式会社 大鐵

代表取締役社長 嶋津 満春 氏



■ 令和8年度

大分県産業創造機構のご紹介



大分県産業創造機構は
地域の企業を応援しています

感謝を込めて
300号

02 県外からも応援しています！

キヤノン株式会社
代表取締役会長 CEO
御手洗 富士夫 氏

03 大分県産業創造機構のご紹介

08 企業紹介

株式会社 大鐵
代表取締役社長 嶋津 満春 氏

10 おおいたスタートアップセンター

「おおいた起業家事情」
株式会社 MORI FAM

11 経営革新計画 承認企業の紹介

- ・あふぎ屋
- ・諫山養蜂場
- ・有限会社 麵喰家

12 大分県よろず支援拠点「支援事例」

- ・I.COLOR DESIGN
- ・一般社団法人おおいた共同受注センター
- ・特定非営利活動法人 みんなのあおぞら

13 令和8年度一般研修のご案内

14 TOPICS 1

- ・令和8年度展示商談会出展について

15 TOPICS 2

- ・産学官金連携推進への寄附
- ・生産性向上支援センター開設
- ・マネジメントスクールのご案内

16 広告

- ・大分県信用保証協会



公益財団法人 大分県産業創造機構

〒870-0037

大分市東春日町 17 番 20 号

ソフトパークセンタービル

TEL.097-533-0220

FAX.097-538-8407

✉ ossk@columbus.or.jp

https://www.columbus.or.jp

県外からも応援しています！

大分とともに歩んだ歩み、
そして未来へ

キヤノン株式会社

代表取締役会長 CEO みたらい ふじお
御手洗 富士夫 氏



大分県における当社の歩みは、1982年、安岐町に大分キヤノン株式会社を設立したことに始まります。創業当初は、レンズシャッターカメラ「オートボーイシリーズ」の生産を担う工場としての船出でしたが、技術力と生産体制の不断の強化を重ねるなかで、やがてカメラ事業の中核を担う主管工場へと成長してきました。さらに1998年には、事務機分野におけるトナーカートリッジの主要生産拠点として大分キヤノンマテリアルを設立し、現在に至るまで着実な発展を続けています。

現在、大分県内では、カメラ事業、化成品事業、半導体事業を担う3社6工場を展開し、強固な事業基盤を築いています。なかでもキヤノングループの主力であるカメラ事業においては4工場を有し、同事業の基幹拠点として重要な役割を果たしています。

各工場では最先端技術の導入を積極的に進め、生産の高度化と自動化を着実に推進してきました。とりわけカメラ事業では、宮崎県、長崎県の2社2工場を含む九州キヤノングループとして一体的な経営を進め、拠点の枠を超えた総合的な価値創造に向け、モノづくりのさらなる進化を続けています。

また、事業活動と並行して、人に向き合う経営にも力を注いできました。健康寿命の延伸を見据え、生涯にわたり活躍できる就労環境の整備を進めるとともに、真のダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指しています。2008年からは障がい者雇用にも積極的に取り組み、多様な人材が互いを尊重し合いながら能力を最大限に発揮できる職場づくりを推進してきました。

目を転じれば、大分県は鉄鋼、半導体、自動車といった幅広い製造業がバランス良く集積し、100社を超える自動車関連企業や複数の大手半導体メーカーが進出するなど、全国有数の競争力を誇る産業構造を有しています。また、食品産業は県内製造業の中で最大の雇用を支える基幹分野として、地域の暮らしと経済を力強く下支えしています。重工業から食品、観光まで、多様な産業が共存している点こそが、大分県の大きな魅力であり強みです。

一方で、人口減少や人材不足、物価高騰、デジタル化対応など、経営環境はかつてないほど大きく変動しており、企業には一層高度な判断力と柔軟な対応力が求められています。しかし、大分県の事業者はこれまでも、変化を恐れることなく挑戦を重ね、事業の持続と成長を実現してきました。その歩み自体が地域の信用力であり、未来へとつながる確かな礎だと感じています。今後も自らの強みを信じ、果敢に挑み続けていきたいと思えます。

行政や支援機関、地域社会が一体となり、挑戦を後押しする土壌は十分に整っています。大分県が秘める潜在力は、経営者一人ひとりの志と創意工夫によって、さらに大きく花開くでしょう。新たな挑戦が、皆さまにとって次なる飛躍への一歩となることを、心より願っています。

PROFILE

| | |
|------|--|
| 生年月日 | 1935年9月23日生 |
| 出身地 | 大分県 |
| 学歴 | 1961年3月 中央大学法学部法律学科 卒業 |
| 職歴 | 1961年4月 キヤノンカメラ株式会社 入社 (1969年3月キヤノン株式会社と改称) 1966年5月 Canon U.S.A., Inc. 出向 1979年1月 Canon U.S.A., Inc. 社長 1995年9月 代表取締役社長 2006年3月 代表取締役会長兼社長 CEO 2026年3月 代表取締役会長 CEO (現職) |
| 公職 | 2006年～2010年 日本経済団体連合会 会長 2010年～ 同 名誉会長 (現職) 2006年～2008年 経済財政諮問会議 議員 2010年～2020年 ラグビーワールドカップ2019組織委員会 会長 2014年～2022年 東京オリパラ大会組織委員会 名誉会長 2019年～ 国際花と緑の博覧会記念協会 会長 (現職) 2021年～ ボーイスカウト日本連盟 総裁 (現職) |

令和8年度大分県産業創造機構のご紹介

公益財団法人大分県産業創造機構は、地域に蓄積された産業・経営資源の活用による県内産業の自立的発展と新たな産業創造を支援し、企業経営の向上を担う人材の育成や、経済・産業・地域振興に関する調査研究等を行うことにより、県民生活の向上と県産業経済の発展に寄与することを使命としています。

皆様に今年度事業の概要を紹介させていただきます。

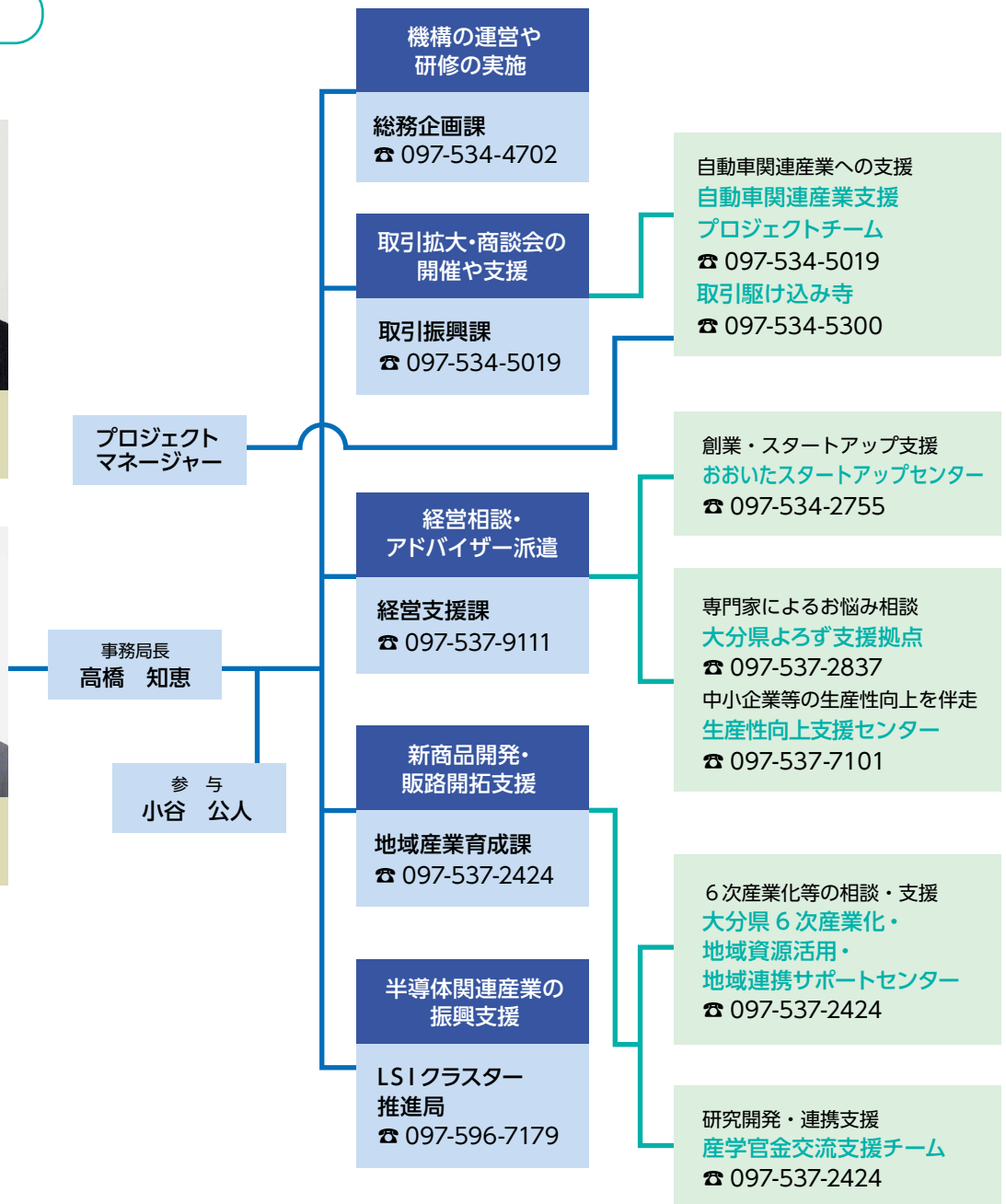
体制



理事長
吉村 恭彰



専務理事
牧 敏弘



認定機関

平成12年5月

中小企業支援法に基づく「指定法人（県中小企業支援センター）」に指定

平成25年3月

中小企業新事業活動促進法（現行 中小企業等経営強化法）に基づく「経営革新等支援機関」に認定



ホームページ



会員募集



各課紹介

大分県産業創造機構の各課の特徴などをご紹介します。

総務企画課

事業運営の司令塔として多角的にサポート

総務企画課は、機構の「司令塔」として、事業計画の立案や組織運営を一手に担っています。

1. 確かな事業運営

中長期的なビジョンに基づき、予算や人事などの管理を通じて、安定した支援体制を構築します。

2. ネットワークの構築

行政、商工団体、金融機関、教育・研究機関など、多様な支援機関との「架け橋」となり、地域全体の支援力を高めます。

3. 情報の最前線

ホームページや情報誌「創造おおいた」、メールマガジンを通じて、経営に役立つ最新情報をタイムリーにお届けします。

4. 学びの場の提供

現場のニーズに応じた多彩な研修を企画。ビジネスマナーからマネジメントまで、大分の未来を担う人材育成を強力にバックアップします。組織運営から情報発信、人材育成まで多角的な視点で地域のビジネスシーンを支えます。



【一般研修の様子】

取引|振興課

取引あっせんや先端分野への挑戦をサポート!

取引振興課は、次の5つを柱にものづくり企業をご支援します。

1. 受発注取引の紹介あっせん

- (1) 県内外企業の発注案件を開拓し、県内受注企業へ紹介します。
- (2) 展示会・商談会による販路開拓や取引拡大の機会を創出します。
- (3) 専門調査員による巡回支援を行います。

2. 自動車関連産業への取引|拡大支援

「自動車関連産業支援プロジェクトチーム」を核に、自動車関連産業の更なる拡大・集積を図ります。

3. 先端分野への挑戦支援

AIやロボット、デジタル技術等、成長分野への参入に向けた情報提供やプロジェクト立ち上げ等の支援を行います。

4. 宇宙関連ビジネス振興事業

展示会での周知活動やマッチング機会を創出します。

5. 取引|かけこみ寺

受託取引に関する相談窓口を開設しています。



【昨年の中小企業テクノフェアin九州】

経営支援課

経営上の悩みや課題はありませんか。

あらゆる経営課題の解決に向け、ともに考え 全力で応援します!

1. 経営相談対応及び施策活用の支援

中小企業の皆さまからの様々な経営相談に対して、他の支援機関等とも連携し幅広く総合的に対応します。必要に応じて国・県等の支援施策の活用を後押しします。

2. 「経営革新計画」の策定支援

中小企業等が策定する「経営革新計画」の事業計画をブラッシュアップし、県への申請を支援します。また、承認された経営革新計画の事業について、補助金活用等のフォローアップを行います。

3. 中小企業支援アドバイザーの派遣

中小企業が抱える「高度・専門的な経営課題」について、当機構に登録しているアドバイザーの中から、該当分野の専門家を派遣し、課題解決に向けた助言及び指導を行います。



【専門家派遣による経営相談】

おおいたスタートアップセンター

大分での起業をカタチに!夢の実現を徹底サポート

当センターは、大分県が補助し、機構が運営する公的な創業支援拠点です。起業家の新たな挑戦を全力で応援します。

1. 専門相談員による手厚い伴走支援

県内で起業を志す誰もが気軽に相談できる相談員(コーディネーター、アドバイザー)が寄り添い、事業計画の作成や課題の整理などワンストップの伴走支援を行います。

2. 24時間利用と登記が可能なオフィス環境

施設内は常時利用可能な個室やブース席を完備、本店登記も可能です。入居募集は年4回、最新の募集状況は当センターのホームページをご参照下さい。

3. 成長を加速させる多彩な支援プログラム

特定創業支援等事業認定の創業準備セミナー、生成AI活用や資金調達など実践的なセミナーを開催。事業の各段階に応じた充実のメニューで最初の一步を強力に支えます。



【セミナーや交流会の様子】

大分県よろず支援拠点

事業者様の経営課題解決を全力でお手伝いします!

「大分県よろず支援拠点」は中小企業、小規模事業者、創業者の皆さまからの、経営上のあらゆるご相談にお応えするために、国が設置した無料の経営相談所です。

ワンストップ相談窓口

売上・利益拡大や資金繰り・経営改善、組織基盤強化、事業承継、創業など、経営に関する様々なご相談に「各ジャンルの専門家」が対応して課題解決の支援をします。何度でも無料で、Web や電話相談にも対応します。出張相談会や各種セミナーも実施しています。

あらゆる経営課題へ対応
専門性の高い経営アドバイス
相談から実行までフォロー
他の支援機関との連携による支援

営業時間

■相談時間：9:00～17:00(月～金曜、土日、祝日)

■予約受付時間：8:30～17:00(月～金曜)

※まずは電話等でご予約をお願いいたします。

※最終相談の開始は16時～となります。

生産性向上支援センター

《2026年4月開設》

中小企業等の生産性向上を徹底的に伴走!
国が実施する無料の支援です。

1. 生産性向上の「プロ」が支援

生産性向上に関する知識・経験豊富な「プロ」が「今の現場に合った」次の一歩と一緒に考えます。

2. 無料・複数回の現場訪問

「相談に行く時間がない」、そんな場合でも、ご安心ください。サポーターが何度でも、無料で、現場へ伺います。

3. 補助金活用にもメリット

センターの支援を受けることで、省力化投資補助金(一般型)の採択審査において加点が受けられます。

・まずは作業を3つに区別することから



質問・相談・予約は

大分県よろず支援拠点生産性向上支援センターまで
TEL:097-537-7101

■受付時間 8:30～17:00(月～金曜) ※祝日等を除く

地域産業育成課

多様な主体の連携を促進し、
大分発の新事業・新商品の創出を応援します!

1. 商品開発・販路開拓の支援

(1)新たな商品の開発・販路開拓等に要する経費を対象に助成金を交付しています。
(2)県内外及び海外への販路拡大を図るため、展示会・商談会等への出展支援等を行います。

2. 研究開発の支援

大学などの研究機関の技術シーズや企業ニーズを発掘し、研究開発補助事業のマッチングを行うほか、Go-Tech事業等の事業管理機関として、応募手続から事業推進まで幅広いサポートを行います。

3. 連携の促進

「大分県産学官金連携推進会議」を運営し、産学官金連携の案件発掘等を行うほか、共同研究の苗床として、交流グループ活動を支援し、大分県産学官金交流大会等で活動成果を発表しています。

4. 大分県6次産業化・地域資源活用・地域連携サポートセンター

農林漁業者及び中小企業者が、農林水産物を始めとする多様な地域資源を使って新商品開発や新事業を行う「6次産業化・地域資源活用・地域連携」の支援窓口として、電話相談に対する助言や、専門家(プランナー)による経営改善サポートを行うとともに、研修会等を開催して6次産業化の実現に向けた支援を行います。



【展示商談会出展(食品)の様子】

LSIクラスター推進局

地域の半導体関連産業のハブとして、産学官金の共創を促進し、人と地域と世界をつなぎ、産業の持続的発展を大分から実現します。

1. 人を育て、未来を広げる(人材育成)

半導体の認知向上と人材の裾野拡大で、多様な人材が地域で育つ基盤を構築します。

2. 技術を磨き、価値を生む(研究開発)

産学連携と技術マッチングにより、企業の強みを活かした新技術・新製品の創出を後押しします。

3. 機会を繋ぎ、市場を拓く(販路開拓)

最新情報発信とビジネスマッチングを通じ、広域的な取引機会と市場開拓を支援します。

4. 繋がりが、ビジネスを生む(ネットワーク)

会員・連携機関との交流を促進し、共創と共感による新たな連携と価値創出を実現します。半導体産業を核とした地域経済の持続的発展と、大分から世界へ広がる産業拠点の実現を目指します。



【台湾商談会(in台北)】

大分県産業創造機構は、2026年度から2030年度までの5年間の期間とする

「第五期中期経営計画」を策定いたしました。

本計画では、「中小企業の笑顔あふれる未来へ!」を基本理念に掲げ、物価高騰や人手不足といった厳しい環境下にある県内中小企業の皆様から信頼されともに歩み、成長しつづける機構を目指します。

【5つの事業戦略】

- 経営基盤の強化：専門家派遣や商談会を通じた取引拡大支援
- 新事業展開への挑戦：経営革新や旗艦商品の開発、創業・起業を伴走支援
- 先端技術による新産業の育成：半導体・宇宙産業をはじめとする先端技術分野を推進
- 産業集積の促進：自動車・半導体関連産業への集中支援
- 多様な人材の育成・交流：マネジメントスクールや異業種交流による新ビジネス創出

当機構は、現場力を活かした企業訪問を強化し、公的機関や金融機関とのハブ機能を担うことで、課題解決に向けたスピード感ある支援を行います。DX推進による業務効率化も図り、組織一丸となって皆様の新たなチャレンジを全力で支援してまいります。



「挑戦」「創造」「継続・伴走」

公益財団法人 大分県産業創造機構

第五期 中期経営計画(2026~2030)

概要版

中小企業を取り巻く環境

・物価高によるコスト上昇 ・深刻な人手不足 ・人件費の高騰(最低賃金の持続的引上げ) ・金利のある世界の到来 ・諸外国の経済政策の影響等

基本理念

「中小企業の笑顔あふれる未来へ!」~皆様から信頼され、ともに歩み、成長し続けます~

職員の行動指針

①現場力・改革力の向上とスピード感ある対応 ②高度化・複雑化・多様化するニーズへの対応
③公的支援機関、金融機関、教育・研究機関等との連携強化

計画期間

5年間：令和8年度(2026年度)~令和12年度(2030年度)

5つの事業戦略・取組

| 生産性・付加価値向上対策 | | 3 先端技術による新産業の育成 | 4 産業集積の促進 | 5 多様な人材の育成・交流 |
|--|--|--|--|---|
| 1 経営基盤の強化 (1) 相談対応や専門家派遣による課題解決 ・機構職員による幅広い相談対応 ・よらず支援拠点、スタートアップセンターによる専門的な相談対応 ・生産性向上支援センター(仮称)による伴走支援 ・機構登録アドバイザーの派遣による助言・指導 (2) ものづくり産業の取引拡大支援 ・取引あっせん支援 ・商談会開催・展示会出展支援 (3) 県産品の販路開拓支援 ・商談会開催・展示会出展支援 ・海外向けテストマーケティングの実施 | 2 新事業展開への挑戦 (1) 経営革新計画策定支援 ・経営計画のブラッシュアップ ・計画実行に向けた支援策活用 ・フォローアップ (2) 新たな旗艦商品開発・販路開拓支援 ・機構の基金事業を活用した商品開発及び販路開拓支援 (3) 6次産業化支援 ・サポートセンターによる相談対応 ・地域プランナー派遣支援 (4) 起業・創業支援 ・創業相談、起業家用オフィスの提供 ・創業セミナー等の開催 ・創業後フォローアップによる継続支援 ・都市圏スタートアップや支援機関等とのネットワーク形成 | (1) 高度な研究開発支援・産学官金連携の推進 ・成長型中小企業等研究開発支援事業の執行管理及び案件掘起こし ・産学官金連携推進会議の運営支援 ・交流グループ活動支援 (2) 先端技術分野への参入支援 ・宇宙産業等への参入及び交流支援 ・関連情報の提供及び助成金等申請支援 | (1) 自動車産業への集中支援 自動車関連産業支援プロジェクトチーム ・取引拡大支援 ・新規参入支援 ・次世代自動車事業への進出や転換支援 (2) 半導体関連産業の振興 大分県LSIクラスター形成推進会議 ・研究開発(研究開発・技術指導) ・人材育成(産学官連携) ・販路開拓(国内外の商談会・展示会出展) ・会員交流(広域連携、地域交流) | (1) 研修を通じた人材育成 ・マネジメントスクール (企業の後継者、経営幹部候補など) ・一般研修 (新入社員~管理職(段階・部門ごと)) (2) 異業種交流の推進 ・交流、連携による新ビジネス創出支援 (大分県異業種連携企業会(豊信会) (大分県技術・市場交流プラザ大分)) |
| 企業ニーズや情勢変化なども踏まえ、本枠内において、新しい取組を柔軟に企画・実施 | | | | |
| 計画推進のために(体制整備など) | 1 安定した経営基盤の確立 (1)財政基盤の安定化 (2)機構内のデジタル化・DXの推進 (3)職員の育成と組織の活性化) 2 企業訪問の強化 | 3 公的支援機関、金融機関、教育・研究機関等との連携強化 | 4 情報提供・情報発信の強化 | |

中小企業の生産性の向上や経営課題の解決、時代の変化に柔軟に対応する新たなチャレンジを支援

令和8年度事業計画

中小企業を取り巻く環境は、人手不足や賃金引上げ、エネルギー価格高騰、金利環境の変化など、依然として厳しい状況にあります。こうした複合的要因の中、経営者には迅速な意思決定と、生産性向上・付加価値向上に向けた投資が不可欠となっています。

国は、成長投資型経済への転換を掲げ、AI・半導体、宇宙、GXなど戦略分野への重点投資や、中小企業の「稼ぐ力」の強化を打ち出しています。県においても、令和8年度一般会計当初予算で過去最高額を計上し、物価高対策や生産性向上を支援する「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の実現を加速させています。

当機構は、これら動向を的確に捉え、本年度より始動する「第五期中期経営計画(2026~2030)」を推進します。中核的支援機関としてハブ機能を強化し、伴走支援の原点に立ち返った企業訪問や関係機関との連携を通じて、中小企業の競争力強化を全力で支援します。

【新規・重点項目】

1. 経営基盤の強化

- (1) 専門家派遣や、よろず支援拠点による訪問型伴走支援の実施
- (2) 国内外の展示会出展支援や商談会開催による販路開拓・新分野進出支援

2. 新事業展開への挑戦

- (1) 経営計画のブラッシュアップから実行までの一貫した伴走支援
- (2) 「おおいた中小企業活力創出基金」による旗艦商品の創出支援
- (3) 6次産業化の推進およびスタートアップセンターによる創業・起業家育成

3. 先端技術による新産業の育成

- (1) Go-Tech事業等の獲得支援および産学官金連携による技術高度化支援
- (2) AI、ロボット、半導体、宇宙分野への参入・活用に向けた情報提供とマッチング

4. 産業集積の促進

- (1) 自動車関連産業における受発注情報の提供と、次世代分野への参入支援
- (2) LSIクラスターを核とした半導体産業の研究開発・人材育成・販路開拓支援

5. 多様な人材の育成・交流

- (1) 「マネジメントスクール」や階層別研修による経営幹部・実務人材の育成
- (2) 異業種交流組織の運営支援を通じた、新ビジネス創出に向けた連携強化



今秋、創業50周年。
社会インフラ整備に貢献し、
地域の未来を創る。



株式会社 大鐵

代表取締役社長

しまづ みつはる
嶋津 満春 氏

今年10月27日に創業50周年を迎える株式会社大鐵。現在は3代目代表取締役社長・嶋津満春氏のもと、土木・建築資材販売のほか、土木・建築・鋼構造物の工事、鋼製橋梁の桁製作や各種鉄鋼製品の製造加工など、幅広い事業を展開している。さらに和×アルミのインテリア小物ブランド「d&. (ディーアンドドット)」を立ち上げるなど、新事業にも挑戦。創業以来、信頼を積み上げてきた堅実な仕事ぶり、ボトムアップ経営による自由な社風が大きな特長だ。



土木・建築資材の総合商社としてスタート

1976年、現会長の佐藤浩氏が、新日本製鐵株式会社（現・日本製鐵株式会社）の大分県販売特約店として、大鐵を創業。土木・建築資材の販売から始めて、県内各地の建設工事の施工や、各種鉄鋼製品の製造にも業務を拡大し、現在は「商社部門」「建設部門」「製造部門」の3部門で事業を展開している。

商社部門では、道路・橋梁・堤防などの土木工作物や、商業施設・マンション・個人住宅などの建築物、いわゆる社会インフラの整備に関わる建設資材全般を取り扱っている。販路は県内から全国へ広がっており、取引先は200社以上に及ぶ。

建設部門は、県内の市町村から受注する公共工事が中心。鋼製橋梁の新設・補修工事、法面工事、ガードレールの設置工事、道路改良工事など、さまざまな建設工事の施工を請け負っている。

製造部門では、鋼製橋梁の桁や鋼製構造物、各種鉄鋼製品などを製作。大鐵グループの株式会社富士昭（嶋津氏が社長を兼任）では建設資材「フェローデッキ」シリーズを製作している。これはマンションや大型商業施設などに使用される床材で、梁に敷き、直接コンクリートを打設できるのが特長。鉄筋及び型枠工事の簡略化を実現し、工期の短縮とコストダウンを図ることができる。近年は職人不足が課題となる中、全国的に普及が進んでいる商品で、大鐵グループは九州一円から広島までの販売権を獲得。富士昭が製造、大鐵が販売を担っている。

事業を通じて地域の社会インフラを支えることに貢献し、自分たちの仕事が身近な道路やプラントなど目に見える形となって残っていく。それは社員にとっても大きなやりがいとなっている。



自社インテリア小物ブランド「d&。」を海外へ

新たな挑戦として2022年に立ち上げた、和×アルミのインテリア小物ブランド「d&. (ディーアンドドット)」が注目されている。日本の美意識WABISABIをテーマに、和の伝統とアルミのモダンな要素を融合させた、和モダンなデザインが特長。伝統的な折敷をイメージして日本の伝統模様を切削デザインしたアルミプレート「敷 SHIKI」、規格のアルミ角材を活用した卓上カレンダー「角 KAKU」などのシリーズがある。洗練された中にもどこかあたたかみを感じる小物たちは、ホテルや旅館、レストラン、セレクトショップなどのインテリアはもちろん、気のきいたプレゼントとしてもおすすめだ。

人材不足に悩む業界にあって、若い人たちに目を向けてもらえるきっかけになればと始めたもので、企画・デザインは社員のチームで手掛ける。図面を描くのは、営業部門で住宅の室内用鉄骨階段の図面を担当している女性社員。その技術を応用してCADでアルミ小物の図面を描き、切削や曲げなどの加工はそれぞれ得意とする取引先の工場に依頼。最終仕上げは職人が一点一点手作業で行う。同社は住宅用のアルミ製手すりの製作も手掛けており、素材の特性を熟知しているのも強みだ。別府の竹工芸や国東の七島蘭など、県内の特産品とのコラボにも力を入れ、さまざまな分野の職

人と共に商品開発を行っている。ものづくり商社としてのネットワークと職人の技術力を生かした、同社ならではのプロダクトである。

商品はECサイト「BASE」で販売。日本の魅力ある工芸品の輸出を支援するジェトロ（日本貿易振興機構）の事業「TAKUMI NEXT2024」に採択され、展示会を通じて海外企業との商談も増えているという。大分県産業創造機構の支援により、今年1月には県の経営革新計画承認も受け、来年度からは本格的に海外へ販路拡大をめざす。

 **ボトムアップ経営で
社員を育て業績を伸ばす**

嶋津社長は1982年に入社。営業職や専務を経て、2013年、若くして急逝した2代目の後を継いで代表取締役社長に就任した。就任後、心がけたのは、従来のトップダウン経営からボトムアップ経営への転換だったという。

「社員には、自分たちで考えて、やりたいと思ったことは何でもやっていいぞと言ってきました。会社を伸ばすには、若い人たちの意見を吸い上げて実行していくしかないと思ったんです」

事務所はフリーアドレスで仕切りがなく、社長室もなし。「入社したての新入社員の横に私が座っていて、お客さんから驚かれたこともありますよ」と愉快そうに笑う嶋津社長。そんな風通しのいい環境の中で、社員が行き来してコミュニケーションを取りながら仕事を進め、協働体制と自由な社風が育ってきた。「d&」の斬新な企画もそういう中から生まれたもので、まだ成長途中だが「ここから横に広がってくればいい」と長い目で見守っている。

社員のワークライフバランスの向上にも力を入れ、男女とも育休の取得を積極的に推進（産後パパ育休も）。家庭の都合に合わせてフレックスタイムや在宅勤務などにも対応しており、育児と両立しながら長く働いている女性社員も多いと

いう。

3代目を承継して13年。23億前後だった売上を93億まで伸ばし、近年は3期連続で過去最高益を更新した。「人を育てていくと、自然と数字も上がってくるんですね」と嶋津社長。とはいえ決して平坦な道のりではなく、非常に厳しい時期もあった。そんな時に最も活用したのが、初代が掲げた社是だったという。

「1+1=2 当たり前のことを当たり前徹底的にやろう」
「100-1=0 100の実績を上げていても、たった1つのミスで信用がゼロになる、心を引き締めて仕事に当たれ」

今も毎週、朝礼の際に全員で唱和し、心に刻んでいる。創業以来、こつこつと手抜きせず真摯に取り組んできた結果が、今の会社の姿だ。

今後は、フェローデッキに加えて何かもう一つ、建築資材の新しいものを生み出し、製造を手掛けることが目標。「自社オリジナルのものをもち、それを伸ばすことで魅力ある会社にしていきたい」と若い世代に期待を寄せている。

 **企業データ**

| | | |
|--------|---|---|
| 企業名 | 株式会社 大鐵 |  |
| 代表者 | 代表取締役社長 嶋津 満春 | |
| 所在地 | 大分市日吉原1-8 TEL 097-547-8777 | |
| 設立 | 1976年（昭和51年）10月 | |
| 資本金 | 8600万円 | ホームページ |
| 社員数 | 48名 | |
| 事業内容 | 土木建築資材の販売、建設業（鋼構造物・土木・とび土木・建築など22業種）、鋼床版・鋼桁等の製造加工販売、構造物の補修補強の設計及び工事、住宅用設備・建材の販売、太陽光発電システムの設計・販売 | |
| グループ会社 | 株式会社 富士昭（NEWフェローデッキ製造） https://www.daitetsu-net.co.jp | |



[d&] Lit.Link

- ①大分市青崎の港湾改修工事（鋼製橋梁上部の製作・施工）
- ②さいき城山桜ホール（フェローデッキ・金属製建具等の製作・施工）
- ③グループ会社で鉄筋トラス付の床材「NEWフェローデッキ」を製作
- ④「d&」のインテリア小物シリーズ「敷 SHIKI」
- ⑤女性社員も多く、社内はいつも明るく活気がある



「歩くための杖」で世界の人々の健康寿命を延ばす

株式会社 MORI FAM 代表取締役 森 達雄 氏

本年2月に株式会社MORI FAMを設立した森達雄代表取締役にお話を伺いました。
(聞き手：おおいたスタートアップセンター コーディネーター 中本毅)

森氏は中学校の英語教員として長年教壇に立ち、現在も学習塾を展開する教育者です。そんな森氏が歩行杖の開発に踏み出したきっかけは、2021年の由布岳登山でした。拾った「くの字」に曲がった木の枝を杖代わりに使ったところ、その使いやすさに驚愕したと言います。適度な弾力が推進力を生み、手と足のリズムが自然と合うこの形状は「必ず人々の役に立つ」と確信し、開発を決意しました。

研究の末にたどり着いたのが、グリップから「1足長(足のサイズ)」下の位置で、杖の先端が1足長前方になるよう曲がっている独自の法則です。姿勢を保ち「歩くための杖」として進化したこの杖は「Issoku-CHO(1足長)」と名付けられました。弟さんの助言で特許を取得し、グッドデザイン賞や、2025年2月にはビジネスコンテスト「OITAゼロイチ」で最高賞の大分県知事賞に輝きました。同年10月の「九州・山口ベンチャーマーケット」発表会では大賞に準ずる「優秀賞」に選ばれ、2026年3月には大分県「特許・商標チャレンジコンテスト」で最優秀賞(商標の部)を受賞されています。利用者からは「以前の杖には戻れない」といった声が寄せられ、口コミで全国に広がっています。

順調に製品が広がる一方で、森氏はおおいたスタートアップセンターが共同運営する「Oita GROWTH Ventures」に参加し、ビジネスとしての持続可能性を模索しました。各協会に公認ポールとして認めてもらうため、あるいは医療現場への進出を開始するためには、法人としての信用が不可欠だと痛感したそうです。世の中に広く普及させる責任を果たすため、株式会社MORI FAMを設立しました。

森氏が大切にしている言葉に「箸(はし)よく盤水(ばんすい)を回す」があります。大きなたらいの水も、一本の箸で根気よく回し続ければ、やがて水全体が大きな渦になるという教えです。森氏は「最初は絶対役立つと信じて一人で回し始めましたが、全く水は動きませんでした。しかし、回し続けるうちに様々な人が加わっていただき、徐々に水が動き始めているのを感じます」と語ります。

現在は、アウトドア事業を行う株式会社ヤママップ(本社:福岡市)と共同でカーボン製トレッキングポールの開発を進めており、2026年3月にヤママップより『軽禅杖』としてリリースされました。登山などのスポーツ分野へ大きく進出しています。また、県内の介護老人保健施設 社会医療法人 敬和会と連携し、大分豊寿苑で医療・介護福祉分野に適する製品の開発を進めています。森氏は「10年後、渋谷のスクランブル交差点を渡る、杖利用者の3人に1人がこの形状を手にして世の中を作る」というビジョンを持っています。しかし、その挑戦は国内だけにとどまりません。「この形状は世界のスタンダードになる力を持っています」この言葉が徐々に真実味を帯びて来ました。

最後に『創造おおいた』読者の皆様へメッセージをいただきました。「この形状を世の中に広めたいので、一緒に大分から世界を目指してタグを組んで頑張っていける人が現れてくれたら嬉しいです」

純粋な思いと行動力で進み続ける森氏の挑戦を、当センターも引き続き支援してまいります。



由布岳登山で拾った木の枝



グッドデザイン賞



奥様とともに



「Oita GROWTH Ventures」
最終デモデイにて

経営革新計画 承認企業の紹介

あふぎ屋

テーマ：別府の放置竹林を活用した「地獄蒸し別府めんま」のブランド拡大と地域資源による産業創出

【概要】別府市内にある放置竹林の整備を起点として、そこから採れるタケノコを原材料に使った「地獄蒸し別府めんま」に大分県産の地域食材を組み合わせて、新しい味付け・商品開発を行います。一般的にめんまは孟宗竹(もうそうちく)を使うことが多いですが、大分県で多く生産されている真竹(まだけ)を原料に使用します。地域資源である真竹を有効に活用することで、放置竹林の課題解決にも貢献していきます。今後は、さらに「無添加」「自然派」「伝統調理法」といったキーワードで高付加価値商品として展開し、健康志向の高い方や自然食品を求めるハイクラス層をターゲットとしたブランド展開を目指してまいります。



代表者コメント

別府の放置竹林から生まれる“地獄蒸し別府めんま”を通じて、地域の魅力をお届けしています。これからも地域の皆様と共に、県産食材・酒造とのコラボ商品づくりやギフトとしての販路拡大にも取り組みながら、地域課題の解決につなげてまいります。この取り組みを大切に育て、想いをかたちにしながら、別府・大分ならではの食文化として全国へしっかりと発信してまいります。

あふぎ屋
代表 内山 恵美
大分県別府市大字鉄輪803番1
TEL.090-5763-4830
<https://beppuougiya.official.ec/>

諫山養蜂場

テーマ：熟成蜂蜜の商品化と地域食材を活かしたブランドを構築

【概要】7年前に祖父から事業を引継ぎ、養蜂業として蜂蜜の採取・販売を行っています。今回、採取後の蜂蜜を一定期間寝かせ、風味やコクを増す「熟成蜂蜜」を開発します。熟成環境は温度・湿度を管理し、再現性の高い品質を実現します。また、日田市の特産品でもある日田梨の規格外品を活用し、地域連携による蜂蜜とのコラボ商品を開発。これにより、地域資源を有効活用したフードロス削減型のブランドを確立します。



代表者コメント

当養蜂場は日田市内にだけハチの巣箱を置き、日田産の蜂蜜採取を行っています。今回取り組む熟成蜂蜜は、時間をかけることで風味やコクを高め、これまでにない魅力を引き出すものです。地域に根差した養蜂業として、蜂蜜の新たな価値づくりに挑戦しています。地域と共に成長しながら、持続可能な養蜂業の確立を目指してまいります。

諫山養蜂場
代表 諫山 洸武
大分県日田市大字三和2935
TEL.080-1734-7386

有限会社 麺喰家

テーマ：緑・黄かぼす胡椒の商品開発と国内外への販路拡大

【概要】当社は地域特産のカボスを活用した新商品「カボス胡椒」を、ペースト・粉末の両形態で商品化する。既に試供や納入実績を得ており、今後は業務用を中心に販路を拡大すると共に、ECやふるさと納税を活用して県外需要にも対応する。次期代表によるリサーチから、将来的には海外展開も視野に入れ、地域資源を活かした新たな収益基盤の確立を目指す。



代表者コメント

当社では、地域特産のかぼすを活かし、香りと味わいを楽しめる「かぼす胡椒」の商品化に取り組んでおります。麺屋である当社が、まさかかぼす胡椒まで手がけるとは自分たちでも少し驚いておりますが、ひらめきと技、そして少しの遊び心を大切にしながら、麺料理はもちろん、さまざまな料理によく合う一品へと育てていきたいと考えております。今後も、大分ならではの味を広く発信してまいります。

有限会社 麺喰家
代表 土谷 真由美
大分県別府市石垣東9丁目1-40
TEL.0977-21-1147
<https://www.instagram.com/menkuiya/>

CASE 01 I.COLOR DESIGN 梅崎 あい子 (サービス業) 住所 大分市府内町1丁目6番36号 T・Sアパートメント3F
 HP <https://icodesign.link/> Instagram <https://www.instagram.com/i.colordesign/> (飯田CO担当)

■相談内容や課題

パーソナルカラー診断サービスの価値向上と継続的な売上創出のための事業モデルを構築し、カラー診断結果を活かした新サービス(オーダーアイテム提供)の事業化や、自己ブランディング需要の高まりを踏まえた商品・サービス設計の整理をしたい。

■支援内容

- 大分県では数少ない「16タイプカラーメソッド®」によるパーソナルカラー診断を行う専門サロンであり、色彩理論に基づいたトータルなスタイリング提案が可能であることや、カラー診断士として、顧客の魅力を引き出すコンサルティング型サービスを提供しているという強みを明確にして、以下について助言・提案を行った。
- パーソナルカラー診断を単発の診断サービスで終わらずに「似合う色」を実際のアイテムとして形にする事業モデルや、オーダーストールやジャケット等の販路拡大策を提案。
- 40代以降のファッション志向層をターゲットとした市場設定の整理について助言。
- 大分県経営革新計画の申請に向けたアドバイスを実施。(令和7年度承認)

■成果(相談者の声)

パーソナルカラー診断は多くのお客様に喜ばれていましたが、サービスが一回完結型であるため、リピーターの創出や継続的な顧客関係の構築が課題でした。今回の支援により、診断結果をオーダーストールやジャケットなどの具体的なアイテムとして提供する新たなサービスの方向性が明確になりました。「似合う色」を実際に身につけて実感できるサービスへと発展できると感じています。



府内町にあるサロン外観 パーソナルカラーを基にオーダーストールをご提案 梅崎あい子さんがあなた色を導きます

CASE 02 一般社団法人おいた共同受注センター (障がい福祉サービス事業所等活用促進) 住所 大分市志手3組-2エデンビュー志手B
 TEL 097-529-7622 HP <https://oitakyojyu.net/> (新名CO・吉良CO・工藤崇CO・飯田CO・油布CO担当)

■相談内容や課題

- 共同受注センターの収益改善と就労継続支援施設の販路開拓について相談。主にWebサイトの内容や業者とのコミュニケーションについて、IT関連の仕事の受注方法についてやマッチング交流会の集客、運営方法について相談。
- 主な課題は、マンパワー不足、組織力がいかされていないこと、就労継続支援施設と支援機関との交流が少なく活用されていないことであった。

■成果(相談者の声)

よろず支援拠点と連携することで就労継続支援施設の課題解決の相談ができるようになりました。

ビジネスマッチング交流会では、一般事業者、支援機関等多くの方に参加していただき、当センターの認知度を上げ、受託作業の情報を得ることができました。また、加工食品を製造している会員施設が県主催の大分県産加工食品展示商談会に出展して新規の販路開拓をすることができました。内部の人手不足対応では、経理や総務の業務を外注することで省力化が図られるようになりました。

■支援内容

- 市場のニーズを把握するために一般事業者の訪問や、商工会議所、商工会等との交流により地域の事業者のニーズを集めることを提案。
- 大分県主催の展示商談会への参加や、ビジネスマッチング交流会の集客、運営方法について助言。
- 経理や情報収集などの業務を外委託することを提案。
- IT業務は幅広く、作業内容によっても難易度にバラツキがあるため、就労継続支援施設内でのスキルマップの作成を促した。



ビジネスマッチング交流会 大分県産加工食品展示商談会

CASE 03 特定非営利活動法人 みんなのあおぞら 住所 大分市富士見が丘西1丁目4番4号
 TEL 097-558-8285 HP <https://m-aozora.com> (亀山CO・吉良CO・木許CO・大野CO・油布CO担当)

■相談内容や課題

直近の課題になっている新規の事業である焙煎コーヒー直売店の立地や開店後の情報発信、販路開拓等について相談があった。

代表は柔軟な経営感覚を持ち、経験が豊富な優秀なスタッフが揃っており、既存の受託事業が順調に運営されている。

■成果(相談者の声)

これまで、自分達の考えや方法のみで推し進めてきましたが、専門家からの意見やアドバイスを取り込むことで、販路拡大に伴う視点や考え方を学ぶとてもいい機会になりました。また、原価計算・損益分岐点計算をして、適正価格を設定することや、大分県主催の商談会に際しては、商談の進め方や営業方法を学びました。そのおかげでEC販売や他事業者とのコラボ商品の商談にこぎつけることができ、商品化と販売計画が進んでいます。新規店舗の計画では、立地や周辺情報など分析データをもとに考えるなど出店後の展開もイメージしやすい提案をしていただきました。実現に向けて力添えをしていただきながら取り組んでいます。

■支援内容

- 店舗候補地選定にあたって、「MieNa」による商圈情報を提供して、商圈分析や現地での立地調査を行う事を提案。
- 自社の強みを明確にして、Webサイトやショッピングサイトに活用することを提案。
- 同業他社の研究・他業種とのコラボや大分県主催の展示商談会に参加することを提案。
- 原価計算と損益分岐点計算の方法や注意点、流通の流れ、流通用語、JANコードについて説明。



コーヒー焙煎

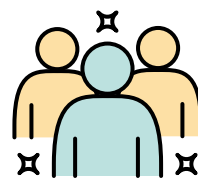
受託事業

令和8年度一般研修のご案内 6月～9月開講

リーダーシップ マネジメント

「自己改革」の実践と部下の可能性を引き出す指導法を学びます

日 時: 6月23日(火)9:30～17:00
場 所: ソフトパークセンタービル3階
(大分県産業創造機構 研修室)
料 金: 会員12,240円
(非会員15,300円・特別会員10,710円)

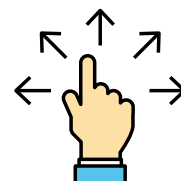


こんな方にお勧め! / リーダーとして活躍している方・これからリーダーを目指す方

令和時代の コーチング・マネジメント

「教える」から「引き出す」へ人材育成に活用できるコーチングを学びます

日 時: 7月7日(火)9:30～16:30
場 所: ソフトパークセンタービル3階
(大分県産業創造機構 研修室)
料 金: 会員12,240円
(非会員15,300円・特別会員10,710円)



こんな方にお勧め! / 人材育成の立場にある方、新しいコーチングを学びたい方

課題解決力、 提案・変革力アップ

自ら課題を発見・提案・変革していく視点・考え方のポイント

日 時: 9月1日(火)9:30～16:30
場 所: ソフトパークセンタービル3階
(大分県産業創造機構 研修室)
料 金: 会員10,300円
(非会員12,300円・特別会員9,300円)



こんな方にお勧め! / 業務改善のノウハウを身に付けたい方

若手職員向け タイムマネジメント

タイムマネジメントのポイントを知り仕事の段取り力をアップしましょう

日 時: 9月8日(火)9:30～16:30
場 所: ソフトパークセンタービル3階
(大分県産業創造機構 研修室)
料 金: 会員8,160円
(非会員10,200円・特別会員7,140円)

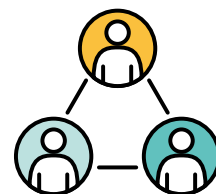


こんな方にお勧め! / 若手職員を中心に段取り力をアップしたい方

組織力・ コミュニケーション力向上

報連相のコツ、信頼関係のメカニズムを理解しましょう

日 時: 9月17日(木)9:30～16:30
場 所: ソフトパークセンタービル3階
(大分県産業創造機構 研修室)
料 金: 会員8,160円
(非会員10,200円・特別会員7,140円)



こんな方にお勧め! / コミュニケーション力をアップしたい方

4月2・3日および9・10日に新入社員研修を行いました。

延べ32人の受講生参加のもと2026新入社員研修を各2日間の日程で行いました。






新入社員としての心構えやマナーを学ぶ中で、受講生のアンケートでは「新たな知識を得たので、今後の仕事に活かして行きたい」、「ロールプレイングを通じ具体的な対応が身についた」などの意見をいただきました。



令和8年度 「大分県産品のブランド力強化及び 国内・海外市場への販路深化事業」 展示商談会出展について

お知らせ

当機構では、県内製造業・食品関連産業等の販路拡大を図るため、県外展示商談会の出展支援や、あらゆる商談の場に活用できる知識の習得、大分県ブースとして出展する展示商談会で成約率を上げるようなセミナーを行い、本事業に参加される企業のサポートを行います。

| 【食品系展示商談会】 担当：地域産業育成課 | | | | | | |
|---|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------|--|--|---|
| 二次元コード | 展示商談会名 | 開催時期 | 開催場所 | 募集予定企業数 | 企業負担額(税込) 【共通】旅費、備品レンタル代 送料等は各社負担 | 参加条件【共通】 ●大分県内の中小・小規模事業者 |
|  | Food EXPO Kyushu2026 | 2026年 10月6日(火)・ 7日(水) | 【福岡】 福岡国際 センター | 10社 | 40,000円 | 九州・山口県産品の生鮮品及び原材料を使用した完成品、もしくは同地域内で加工された完成品であること。 |
|  | 通販食品 展示商談会 | 2026年 10月28日(水)・ 29日(木) | 【東京】 東京交通会館 12F | (1)1小間 1社 (2)1/6小間 (商品展示のみ) ×6社分 | (1)66,000円 (2)11,000円 1/6小間 | (1)自社ブース対応 (要現地出張対応) (2)共同出展(1/6小間・事務局にて現地対応・D30cm×W60cm程度) |
|  | スーパーマーケット・ トレードショー2027 | 2027年 2月17日(水)～ 19日(金) | 【千葉】 幕張メッセ | 10社 | 140,000円 | 大分県ブースの装飾を使用するため、各社装飾・スペースに制限あり |
| 【食品系展示商談会】 【非食品系展示商談会】 共通 担当：地域産業育成課、取引振興課 | | | | | | |
| 二次元コード | 展示商談会名 | 開催時期 | 開催場所 | 募集予定企業数 | 企業負担額(税込) 【共通】旅費、備品レンタル代 送料等は各社負担 | 参加条件【共通】 ●大分県内の中小・小規模事業者 |
|  | 観光・ホテル・ 外食産業展 | 2026年 10月7日(水)・ 8日(木) | 【北海道】 アクセス サッポロ | 8社 | 110,000円 | 大分県ブースの装飾を使用するため、各社装飾・スペースに制限あり |
| 【非食品系展示商談会】 担当：取引振興課 | | | | | | |
| 二次元コード | 展示商談会名 | 開催時期 | 開催場所 | 募集予定企業数 | 企業負担額(税込) 【共通】旅費、備品レンタル代 送料等は各社負担 | 参加条件【共通】 ●大分県内の中小・小規模事業者 |
|  | 東京 インターナショナル・ ギフト・ショー | 2027年 2月24日(水)～ 26日(金) | 【東京】 東京ビッグ サイト | 8社 | 66,000円 | 大分県ブースの装飾を使用するため、各社装飾・スペースに制限あり |

※セミナー・個別支援メニュー、公募時期、参加条件等の詳細は、当機構HPまたは下記お問い合わせ先までお尋ねください。

お問い合わせ先 大分県産業創造機構 地域産業育成課 上野・和田
TEL:097-537-2424 e-mail:m-ueno@columbus.or.jp
取引振興課 宇都宮・西郷
TEL:097-534-5019 e-mail:oric27@columbus.or.jp

産学官金連携推進への寄附に感謝状贈呈

令和8年4月8日、当機構の取組に対し多大なご寄附をいただいた幾留勲様へ、牧敏弘専務理事より感謝状を贈呈いたしました。

幾留様からは令和2年より継続的なご支援をいただいております。このご寄附は、当機構が事務局を務める大分県産学官金連携推進会議の活動支援に役立てられています。

贈呈式で幾留様は、自ら考え行動する“^{こうどう}考動”の経営哲学や教育・人材育成への熱い思いを語られ、「産学官金連携の一助として有効に活用してほしい」と言葉を添えられました。

今回いただいた寄附金100万円は、幾留様のご意向に沿って令和8年度の交流グループ研究開発補助金として活用いたします。これまで、事業化につながったグループも多数生まれており、当機構では今後もこの貴重なご厚意を糧に、地域産業の活性化とさらなる連携推進に努めてまいります。



中小企業等の生産性向上を徹底的に伴走!人手不足の課題を根本から解決します!

大分県よろず支援拠点生産性向上支援センター 2026年4月1日開設!

大分県よろず支援拠点内に「生産性向上支援センター」を開設しました。専門サポーターが無料で何度でも現場へ伺い、事業者の皆さまと共に生産性向上に取り組めます。人手不足や資材調達の難しさ、人的コストの上昇が進む中、限られた人材を最大限に活かす“筋肉質な企業体質”づくりが重要になっています。当センターでは、ムダの削減や作業の見直しなど、無理のない範囲で実践できる改善策と一緒に考え、継続的に伴走支援を行います。忙しい今こそ改善の好機です。ぜひお気軽にご相談ください。



■統括サポーター
亀山 友一郎
経営改善/生産管理

■サポーター



中尾 公一
工程改善/
組織管理/DX



村松 清
工程改善/生産管理



今村 敦剛
経営改善/
生産・品質管理



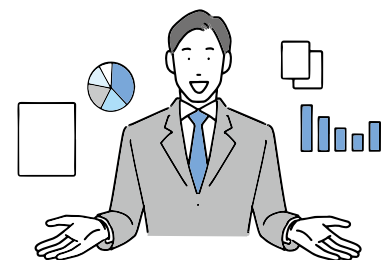
目黒 周平
省力化/生産性向上



電話でのお問い合わせ TEL:097-537-7101 受付時間8:30~17:00 月~金曜日(祝日等を除く)
フォームからのお問い合わせ <https://seisan.yorozu-oita.go.jp/contact>

マネジメントスクールのご案内

- 【開催日時】 令和8年6月16日(火)~11月17日(火) ※全22回開催
- 【開催場所】 大分市内(ソフィアホール、アートホテル大分)
- 【受講料】 一般会員:112,300円/名(税込)
非会員:122,300円/名、特別会員102,300円/名
- 【対象者】 企業経営者候補、課長等の管理職、部門リーダーや次世代リーダーなど
- 【定員】 30名



詳しくはこちら↓

<https://www.columbus.or.jp/2026/04/10/>

経営者保証を不要とする 保証の取り扱いについて

当協会では、経営者が連帯保証人とならずに利用できる保証をご用意しております。

下記のいずれかに該当する法人の場合は、連帯保証人不要で取り扱いができる可能性があります。
お気軽にご相談ください。

金融機関連携型

- ・取扱金融機関において、信用保証協会の保証を付さない、経営者保証を不要とし、かつ担保による保全がない融資残高がある(もしくは同じタイミングで上記と同様の内容の融資を行う)
- ・「直近決算期において債務超過でないこと」かつ「直近2期の決算期において減価償却前経常利益が連続して赤字でないこと」
- ・法人と経営者との一体性解消が図られていることを取扱金融機関が確認している など

財務要件型

- ・直近決算において一定の財務要件を満たしている
(財務要件型は専用保証制度「財務要件型無保証人保証制度」のみ利用可能です)

担保充足型

- ・法人又は経営者が所有する不動産の担保提供があり、十分な保全が図られている。

また、一部保証制度においては制度独自の要件を満たすことで、経営者保証を不要とする取り扱いが出来る場合があります。詳しくは、以下の担当部署にお問い合わせください。

<お問合せ先> 保証部 保証一課 TEL:097-532-8246
保証二課 TEL:097-532-8247

 大分県信用保証協会

当協会ホームページもご活用ください
www.oita-cgc.or.jp



※信用保証協会は、中小企業者の金融円滑化のために設立された公的機関です。
※相談内容を業務目的以外で使用することはございませんので安心してご利用ください。